

商業科公開授業学習指導案

指導者 職・氏名 教諭 木庭 寛幸

指導日時・教室 令和 5 年 11 月 15 日 (水) 5 限目 教室名 3年3組
 対象生徒・集団 商業科 3年(次)生 14人
 科目名 管理会計 (単位数 2)
 使用教科書 管理会計 (実教出版)

1 単元名 経営意思決定 (業務的意思決定)

2 本時の指導と評価の計画 (第3時)

(1) 本時のねらい

- ①経営意思決定について、理論と実務とを関連付けて理解することができる。
- ②経営意思決定の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて改題に対応することができる。
- ③経営意思決定について自ら学び、会計情報に基づく適切な経営意思決定に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

(2) 準備・資料等 財務諸表分析ワークシート

(3) 本時の展開

過程時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
導入 5分	前時の振り返り	企業分析の指標 (計算式) を確認する。	たくさんある分析指標の中で、特に重要な要素を考えさせる。	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・企業名の推測 ・災害状況の推測 ・災害時の影響と災害後の状況 	<p>企業名が伏せられた財務諸表を見て、どのような状況にあるかを推測する。</p> <p>財務諸表の勘定科目から、過去どのような災害にあった企業なのかを考察する。</p> <p>災害による業績への影響を調べるとともに、災害から 10 年以上経過した現在を比較する。</p>	<p>長年の経験による勘ではなく、数字を基にした分析が大切であることを伝える。</p> <p>電力関連企業であることに気付くように、特殊な勘定科目に注目させる。</p> <p>災害後も影響が長期化している状況や、今でも支援が継続していることに気付かせる。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>ワークシートを用いて企業分析を行い、企業の状況を判断することができる。(ワークシート)</p>
終末 5分	本時のまとめ		災害後の企業努力や国からの支援により、業績が回復できることを共有する。	